

『建設物価 土木工事費指数』 2024年10月分の指数データを試験公表

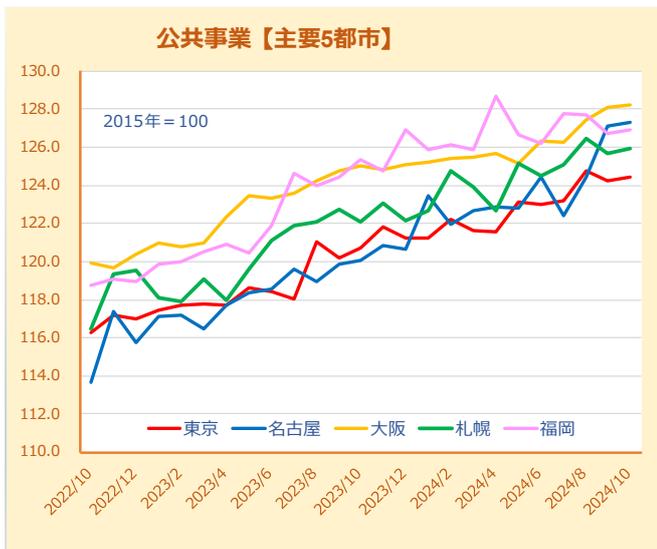
一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：白土昌則）では、『建設物価 土木工事費指数』の2024年10月分の指数データを2024年11月8日13:00より試験公表いたします。

土木工事費指数は、工事価格の変動を時系列や地域毎に把握することを目的に作成されており、物価としての土木工事費を時点間で比較したり、時系列でその動向を観察することも可能です。

■2024年10月分の指数動向（工事原価指数 東京）■（2015年=100.0）

- ▶ 公共事業の指数は、124.4(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比3.1%増となった。
- ▶ 治水の指数は、125.0(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.9%増となった。
- ▶ 道路の指数は、122.4(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.6%増となった。
- ▶ 下水道の指数は、126.3(暫定値)と前月比で0.3%増、前年同月比3.7%増となった。
- ▶ 道路改良の指数は、121.3(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比3.0%増となった。
- ▶ 道路舗装の指数は、115.5(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.2%増となった。
- ▶ 道路橋梁の指数は、129.2(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.8%増となった。
- ▶ 道路補修の指数は、116.7(暫定値)と前月比で0.1%増、前年同月比2.2%増となった。
- ▶ 災害復旧の指数は、123.7(暫定値)と前月比で0.2%増、前年同月比2.9%増となった。

■工事原価指数グラフ■



※2024年10月の指数は「暫定値(P値)」です。

■工事原価指数値■

公共事業【主要5都市】

※2015年=100

年月	東京	名古屋	大阪	札幌	福岡
2023年10月	120.7	120.0	125.0	122.1	125.4
11月	121.8	120.8	124.9	123.1	124.8
12月	121.2	120.6	125.1	122.1	126.9
2024年1月	121.3	123.5	125.2	122.6	125.9
2月	122.2	121.9	125.4	124.8	126.1
3月	121.6	122.7	125.5	123.9	125.9
4月	121.6	122.9	125.7	122.7	128.7
5月	123.1	122.8	125.1	125.1	126.6
6月	123.0	124.4	126.3	124.5	126.2
7月	123.2	122.4	126.3	125.1	127.8
8月	124.7	124.4	127.4	126.4	127.7
9月	124.2	127.1	128.1	125.7	126.7
10月	P 124.4	P 127.3	P 128.2	P 126.0	P 126.9

■2024年10月（暫定値）の土木工事費指数

～名古屋は前年同月比で約6%増 - 材料費・労務費・機械経費の上昇が影響～

2024年10月の東京における公共事業の指数は124.4（暫定値）となり、前月比0.2%増、前年同月比で3.1%増加した。他の工事種類では、前月比で下水道が0.3%増、前年同月比でも下水道が3.7%増と相対的に最も高い伸びを示した。

主要5都市における公共事業の指数も、5都市すべてで前月比、前年同月比ともに上昇した。特に前年同月比で大きく伸びたのが名古屋で、約6%増と伸びが大きかった。この増加は、材料費、労務費、機械経費の上昇が寄与した。寄与度では、労務費が+3.4、材料費が+2.2、機械経費が+0.3であった。一方、前月比は、前月同様、各都市とも小幅な増加に留まった。材料費の内訳については、【建設物価 建設資材物価指数®】を参照。

【本件に関するお問合せ先】



一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 担当：池原 Tel：03-3663-7235

東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋 E-mail：cecc_index@kensetu-bukka.or.jp

詳細な指数はコチラ → https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_doboku/